

(参考様式3)

会 議 録 (要約)

会議の名称	第16期第6回東村山市立公民館運営審議会				
開催日時	平成24年2月13日(月) 18時～20時				
開催場所	中央公民館 第5集会室				
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 川村・倉田・鎌田・縣・滝川・村上・小松 各委員 (市事務局) 曾我教育部長・内野公民館長・半井館長補佐・名倉富士見公民館長・嶋田廻田公民館長・門脇主事 ●欠席者： 常岡委員・川崎委員・桑原萩山公民館長・内藤秋津公民館長				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	0名
会議次第	1 あいさつ 2 曾我教育部長より 3 報告事項 (1) 各館より報告 (2) 第49回東京都公民館研究大会(12/11)について (3) 都公連課題別研修(1/10)について (4) 中央、秋津公民館の陶芸窯について (5) 平成24年度市民テーマ(案)について 4 審議事項 (1) 公民館の市民へのPR活動について(前回継続⑥) (副題：公民館利用者を増やすためにどうしたらよいか) 5 その他 (1) 第50回東京都公民館研究大会「メインテーマ」の選定について (2) 平成24年度都公連委員部会委員の選任について				

会 議 経 過 (要約)

1. あいさつ

■内野公民館長

【陶芸窯の導入について】

- ・12月・1月に中央・秋津に窯の入替が完了し、1月より有料化した。使用方法説明会を中央・秋津で1回ずつ開催した。

■川村会長

【公運審と教育部の有り方について】

- ・教育部の基本的な考え方に公民館の活動が沿っているのかという観点で公運審は行わなければならない。そういった意味では、教育部の幹部と常日頃接していくことが重要である。

【指定管理者制度について】

- ・スポーツセンターが指定管理者制度へと移管したが、「社会教育施設としての公民館」としては、指定管理者制度はそぐわない。だが、国の方針の中ではそういった選択肢もあるということは承知しておかなくてはならない。その中で、メリット・デメリット、時代の変化にどう対応していくかを勉強していかななくてはならない

【事業評価】

- ・市でも事業評価を行っているところがあるようだが、職員（館長）が行うものであり、（公民館で例えれば）公運審委員や市民が公民館活動をチェックする事業評価には至っていない。
- ・福生市を筆頭に、様々な自治体が色々な形態で事業評価を行っている。どのような事業評価が良いのか、予算と効果を考えながら行う必要がある。
- ・民間であれば、売上等ではっきりと判断ができるが、公民館は社会教育施設であるため、事業評価が非常に難しい。どういった形態で行うのが望ましいかを検討する必要がある。
- ・従来の事業評価（館長が評価者）であれば、評価点数が高くなるような企画・事業となりがちである。公民館が行わなくてはならない事業・講座が適正に行われているかを客観的に評価することが重要である

2. 曾我教育部長より

【空調施設の故障と修繕について】

- ・館内の空調故障については、早急に対処する準備をしており、利用者には迷惑をか

けぬよう、事前に連絡をした上で利用していただいている。

- ・(中央公民館は) 30年経過しているが、まず最初に空調に影響が出るようなので、市として課題が明確になってきている。
- ・(修繕の必要に伴い) 第4次総合計画に公共施設の整備を盛り込んでおり、来年度からはストックマネジメント制度を用いた新しい組織となる。

【公民館主催事業について】

- ・24年度の事業についても、(ご協力を) よろしくお願ひしたい。また、第50回東京公民館研究大会の幹事市・会場となるが、委員各位にもご協力いただきたい。

3. 報告事項

(1) 各館より報告

●中央公民館

1. 庶務係

【レクリエーションルーム空調故障について】

- ・先週木曜日(2/9)夕方にレクリエーションルームの空調機から煙が発生した。5階空調室の機械故障と見られ、翌日より修理対応(現在も対応中)。原因は、年末年始にかけての寒気により、暖房使用で負荷をかけすぎたことによるベアリングの故障の様様。利用者には電気ストーブを貸し出して対応している。

【陶芸窯の入替について】

- ・先週の1週間で素焼・本焼を連続で行ったサークルがあり、非常に仕上がりが良かったとの評価を得ている

【第3集会室の空調故障について】

- ・通常、公運審が行われている第3集会室は空調故障のため暖房が使用できない状況である。そのため、今回は第5集会室での開催となった。

2. 事業係

【開催済み事業における報告】

- ・「思春期の子どもについて知っておきたいこと」(11/12~12/16)(全4回・中央公民館)参加者:20名 参加者からは好評をいただいた。
- ・「現代文学を楽しむ」(12/1~12/21)(全4回・萩山公民館)参加者:27名 講師:赤木かん子(児童作家)赤木氏を知る参加者が多く、好評だった。
- ・「ワンランク上の家事を目指そう」(12/14・21)(全2回・廻田公民館)参加者:21名 (著作権があるため)「断捨離」という言葉が前面で使用できなかったのが残念。

- ・「吊るし雛」(1/26・2/2)(午前の回・午後の回の全2回・中央公民館)参加者:49名 毎年好評をいただいております、今回も大変好評だった。
- ・土曜寄席(11/26)(萩山公民館)参加者:51名
- ・新春寄席(1/22)(中央公民館)小遊三出演 参加者:281名
- ・説経節(2/11)(富士見公民館)参加者:46名

【今後開催予定の事業について】

- ・「もっと知りたい隣国のこと 韓国・中国」(先週金曜 2/10 から 3/2 まで)(全4回・秋津公民館)韓国・中国各2回ずつ 講座含め、韓国・中国料理を先生から受講する内容。
- ・「コミュニケーションの方法を身につけよう」(明後日[2/15]から 2/29 まで)(全3回・萩山公民館)講師:昔昔亭笑海氏 現在27名の応募(募集中)嘶家の立場から、話し手・聞き手について話していただく予定。
- ・「社会保障について学ぶ 年金医療制度など」(2/16~2/23)(全2回・廻田公民館)参加者:23名(参加締切済)
- ・「円高時代の私たちの暮らし」(3/21・3/27)(全2回・富士見公民館)2/15号市報紙面にて募集予定
- ・かめのこ学級30周年記念式典(3/18)
- ・キッズ伝統芸能(3/28)浅草公会堂でお披露目

●富士見公民館

【富士見公民館の接遇アンケート表彰について】

- ・平成22年度の接遇アンケートの結果が成績優秀だったということで、富士見公民館が市長より表彰を受けた。

【館内の施設故障について】

- ・共通ロビーの空調機が故障、修理対応中。
- ・東側の自動ドア(外側)が故障、開放したままで対応している。早急に修理対応したい。

●廻田公民館

【第1集会室天井からの水漏れについて】

- ・12/12に第1集会室の天井より水漏れが発生。原因は都営住宅1階と2階の間にある雨水管に亀裂が入り、そこから水溜りが発生、それが水漏れとして落ちてきた。都営住宅(東京都)側で修繕を行うことになっている(公民館での費用は発生しない)。

【陶芸窯について】

- ・中央・秋津の窯が新しくなったことで、廻田の窯利用者がそちらに流れていく可能

性がある。

【電力の節減について】

- ・継続的に電力の節減を行っており、一定の成果が出ている。この寒さだが、利用者には寒すぎず快適に利用していただけるギリギリのところまで節電を行っている。

(2) 第 49 回東京都公民館研究大会(12/11)について

【第 1 課題別集会】

- ・アンケート回収率 66%
- ・アンケート結果は日野市（事務局）が（開催内容を）まとめた冊子に掲載予定（編集集中）だが、諸事情で集計が遅れているらしく、2 月末には配布予定だったのが遅れるとのこと。完成次第、日野市ホームページで公開されるので、公開され次第、事務局からお知らせする。

■村上委員

【第 5 課題別集会「公民館はじめの一步 一何からはじめるかー】

- ・別紙資料参照

(3) 都公連課題別研修(1/10)について

■滝川委員

【「文部科学省の公民館施策から】

- ・別紙資料参照

(4) 中央、秋津公民館の陶芸窯について

- ・各館からの報告にて、有料化と入替について説明したので割愛

(5) 平成 24 年度市民講座テーマ（案）について

■内野公民館長

【講座の提案・提示について】

- ・市民提案：6 件 市民ボランティア提案：12 件 職員提案：35 件
- ・地震関係の講座の提案が多かった（立川断層等）。
- ・予算・講師について考慮した上で、事業係で案を提示する（別紙資料参照）ので、委員から意見をいただきたい。
- ・（分類に⑤⑥⑨がないという質問について）⑤はジェンダーフリーの推進、⑥は若者の空間プロデュース、⑨は国際理解・協働 今年についての予定はない。

- ・(シニア学級の分類が空欄であるという質問について) ③が少子高齢化であるので、それを充てることにする。
- ・(提示された講座で決定か、追加等はできないのかという質問について) 単発講座で講師謝礼を調整したり、回数を調整することで追加することも可能である。

■川村会長

【講座の提示に対して】

- ・予算がない、ではなく、予算が少ない中でどう講座を企画・運営していくかが重要である。人材バンクが活用されていないようなので、講師をそこから選択するなど、予算をかけずにあらゆる分野を網羅して講座を企画・運営すべきである。

【人材バンクの活用について】

- ・現状として、人材バンクは講師依頼をしにくい仕組みになっている(相手の顔がわからない・やり取りに所管は関与しない等)。行政としてももう少し踏み込むべきである。

■鎌田委員

【講師依頼について】

- ・図書館の製本についての講座を例にとる。文化協会の中で、無償で構わないから講座を行いたいという団体があった。図書館と協力を行い、場所の確保と広報は図書館、講座の運営は団体が行った。これがもう数年も続いている。人材バンクの人材の中には「無償でもいいから」という講師は少なくないので、場所を提供できる公民館にとって利用することはメリットではないか。

4. 審議事項

(1) 公民館の市民への PR 活動について(前回継続⑥)

■川村会長

【これまでの議論内容のまとめについて】

- ・ソフト(運用)とハード(施設)の面で考える必要がある。
- ・残り2回の公運審で取りまとめを行いたい。

【これからの公民館の有り方について】

- ・寺中構想に縛られる必要はない。
- ・文部科学省の職員からは、公民館は無料であることは必須ではないとの回答を得ている。
- ・時代が変遷する中で、どう公民館を存続させていくかを考えることが重要(無料に戻すべきではない)。
- ・公民館だよりを前面に押し出し、PRをしていくべきである。

5. その他

(1) 第 50 回東京都公民館研究大会「メインテーマ」の選定について

【2/9 東京都公民館連絡協議会役員会における決定事項について】

- ・第 50 回東京都公民館研究大会は東村山市が幹事市である（平成 24 年 12 月 9 日開催）。
- ・東村山市立中央公民館を中心に、市施設を会場とする。
- ・全体会（中央公民館ホール）、課題別集会を行う。
- ・従来 5 つの課題別集会（担当 3 市、2 部会）だったが、部会を除く 3 つとする（福生市・西東京市・狛江市）。
- ・午前はホールを使用した基調講演、午後は課題別集会を行う。
- ・中央公民館のみでは人員の収容が難しいので、市民センター・北庁舎を会場に加える。
- ・従来は各課題別集会のテーマを集約してメインテーマを設定していたが、今回はメインテーマを事務局で予め設定し、それに沿った課題を担当各市に設定していただく。
- ・公運審委員からメインテーマを募集し、2 月 24 日（金）までに提案いただき、取りまとめた上で 3 月の役員会に提示したい。
- ・大会当日は職員だけでなく、公運審委員にも会場設営・運営をお手伝いいただきたい。

(2) 平成 24 年度都公連委員部会運営委員の選任について

- ・都公連委員部会運営委員会は年 3 回の公運審委員の研修を企画・運営し、ほぼ毎月開催されている。
- ・倉田委員が選任された。

5 連絡事項

次回開催 平成 24 年 5 月 21 日（月）午後 6 時より

問 合 わ せ 先	教育部公民館庶務係 担当者名 半井・門脇 電 話 番 号 042-395-7511 ファクス番号 042-395-7515
-----------	--